

＜学校経営方針の重点＞

- 1 学力の向上 2 規範意識と社会性の向上 3 豊かな心と健康な体の育成 4 保護者・地域・七小との連携

項目	経営目標	本年度の重点	具体的な方策	評価	分析結果	改善策	学校関係者評価記入欄		学校の見解と今後の方向性
							評価	コメント	
学力の向上	基礎・基本を確実に身につけさせる指導の充実	生徒一人一人の個に応じた指導を適切に推進する。	基礎・基本の定着、課題解決力の向上を目指し、授業と家庭学習の関連を踏まえながら生徒の学習を保証する。また、特別支援教室・取り出し授業等により支援を必要とする生徒が安心して学べるよう適切に支援する。	B	教科書に書いてあることを抜き出したり、覚えたりするだけでなく「自分は～と考える」と表現する学習を並行して進めていることがわかる。	主体的・対話的で深い学びに向け課題設定と学習形態を工夫する。課題は難し過ぎず簡単過ぎず学習形態は個（自分の考えをもつ）→集団（互いに啓発）→個（個の考えを深める）が考えられる。	B	生徒自身が学習課題に気付くようになると思う。/学習意欲を引き出すことが重要。具体的には将来をよく見据えて自分なりに行動すること。/各生徒の力を発揮できるように学校はベストを尽くしているように見える。それに対する家庭内での自主学習がとまばらつきがあるように見える。環境という面が否定できないが、意識の高い家庭においては少人数校の特色が現れた良い環境と思う。/課題解決力が注目されているが、基礎・基本の定着があつてこそ。/特別支援学級が今年度から使用でき、生徒一人一人に合った学習支援が行われていると思う。/授業を見ていないので評価できなかった。どう学力を身に付けさせていくかの連携ができることを期待したい。/人と対面することなく、SNSなどを通じ、人と接する昨今、ディスカッションを通じ、自分の意見、相手の意見をまとめ、考えることが重要であると思う。	昨年末の第2回緊急事態宣言の発令により本委員会が開催できず、HP「日々のアップ」をもとにコメントをご記入いただいた。課題解決力の向上、学力の定着、学習支援に引き続き取り組む。現状では感染防止のため授業参観ができないことが課題である。
			学習・図書館支援員による支援や夏季学習教室（ステップアップ）、放課後補習教室（スタディアシスト）の利用で学習習慣や読書習慣を身に付けさせる。	A	生徒の主体的な学びに向けて支援は非常に効果的であると考える。	ステップアップ（試験一週間前実施）は毎回希望者が約40名と多いため分散する必要があり指導者増を検討する。	A	学習教室や補習教室でより充実した学習環境が作られる。/大変良いシステム。/それぞれの生徒レベルの指導が行われ、本校の特色の一つである。きめ細かな指導が学習の遅れを減らす取り組みである。/毎回多くの方が参加しているが、HPの「校長室より」で見た。学びの支援をよろしく願います。/4・5月の自粛期間中の学習が心配されたが、夏季学習教室や補習教室など先生方や支援員さんにご苦労していただき、感謝。/実際の様子がわからないため評価できなかった。ただし、様々な支援体制があることは生徒の学びを充実させることにつながるため、引き続き活用していくことを期待する。/参加希望者が多いということは非常に効果がある対策と思う。生徒にもその考えが広がっていると認識できる。	ステップアップの補習は夏季とテスト前の2種類あり有効であるが、生徒により集中力が異なるためさらに効率的な運用を考える必要がある。これらの多様な支援体制を維持できるよう引き続き予算の確保を目指す。
			eライブラリ等ICT利用により学習意欲を高め、主体的な学習態度を身に付けさせる。	C	eライブラリは一定の効果が見られた。ICTの活用の契機となった。 ※eライブラリ…国のコロナ対策の予算を活用して昨年8月から導入した、端末からインターネットで教材を配信する民間教育サービスのこと。	eライブラリは費用対効果・保護者の方への経済的負担を考え、来年度導入は見送りの予定である。ICTの活用方法を検討していく。	C	ICT機器を使つての学習は良い刺激になる。/予算のかかる事業なのでこれからの期待。ICT活用、GIGAスクールはどんどん進めてあげられるとよい。/GIGAスクール構想実現に向けて進んでいるよう。/子供達が時代に遅れないこと、逆に過度にICTを急ぎ過ぎ、理解度を下げないことをお願いします。/eライブラリ?は説明していただかないと、わからないのでノーコメント。/これからの社会を生き抜いていくためには、ICTの技術を身に付けることは不可欠と思う。eライブラリの内容はわからないが、そのような学習をすべき時期であると思う。/一人一台のタブレットPCが配布され、どのように活用していくかの連携を小中で情報交換していけるとよい。/自分で活用している姿はあまり見られなかった。GIGAスクール構想によりハード面での整備は充実している反面ソフト面ではまだ活用が見られていないと感じる。	ICTは学習の道具であり目的ではないことをふまえて機器の有効活用に向けて3月も教員研修会を行う予定である。（eライブラリは端末からインターネットで教材を配信する民間教育サービスである。予算都合により今年度末で終了する。）

規範意識と社会性の向上	規範意識と社会性をばぐむ指導の充実	<p>基本的な生活習慣の確立を目指し、安全安心な学校生活を送りながら望ましい勤労観・職業観の育成を図る。</p>	<p>薬物乱用防止教室、SNSの使い方、交通事故防止等の安全指導を通して、自ら危機を回避する能力を身に付けさせる。</p>	C	<p>薬物乱用防止/SNS指導はアンケート結果から生徒の危機管理意識向上に役立った。</p>	<p>毎月の避難訓練は時間割の関係から年間行事通りの回数を実施できなかったため改善を図る。予定していたスケアードストレートは緊急事態宣言下のため未実施となった。</p>	A	<p>学校で薬物やSNSの使い方を指導するのは大変重要。/コロナ禍で授業時数の確保、感染対策に頑張っていた。/避難訓練の時間が取れなかった→1年生だけでも実施できるとよい。/規範意識と社会性、生活習慣の観点からは、コロナ禍対応で十分すぎるほど頑張った。「危機回避」がこの欄にあれば当然Aである。/コロナ禍の中でのセーフティ教室も映像で行われたと聞いた。携帯電話が普及している世の中、SNSでの事件も年々増加している様子なので、セーフティ教室はどんな形式でも行ってほしい。/薬物防止乱用教室やSNS指導は、小学校でも行っており、小中で連携しながら中身の濃い指導を引き続きできることを期待する。/SNSの活用について当たり前になった世の中だからこそ必要な対策だと思うので、引き続き充実した指導をお願いします。</p>	<p>セーフティ教室(薬物乱用防止・SNSの使い方等)は来年度も実施の予定である。避難訓練については、今年度は全学年実施できたが、今後は実施回数を増やせるか検討する。避難所開設訓練については今年度を除き、これまで小中連携で進めてきた。来年度も継続して連携する。</p>
		<p>総合的な学習の時間での探究学習のまとめを発表すること等で課題解決力を身に付けさせる。</p>	C	<p>(総合的な時間の発表未実施)</p>	<p>(今年度は教育課程見直しにより前半は総合的な学習の時間未実施)</p>	C	<p>2学期後半、それぞれの学年が図書室を利用し、職業を調べたり、修学旅行の下調べをするなど素地を耕しているように見えた。テーマを調べるというのは大事。/ICTの中でもこの項目はzoomなどを使ってできることがあったのではないかと思います。学校単独ではムリか? 六中同窓会で支援できることもあるように思う。/発表(総合)の様子を、小中でオンラインでつなぐということも今後は検討してもよいかと思う。/コロナ禍において仕方のない対応だと思う。</p>	<p>休校が2ヶ月続き、再校後は総合的な学習の時間と特別活動以外の授業を優先して時間割に組み入れた。そのため十分に総合的な学習の時間を確保できなかった。修学旅行の調べ学習の時間は何とか確保できた。1・2年校外学習の事前学習は3学期からの開始となった。なお、本市はzoomが使用できないのでGoogleで対応する。</p>	
		<p>キャリアパスポート(進路ファイル)を活用して職場体験(中止)等の進路学習での学びをまとめたり、振り返ったりすることで実践力を身に付けさせる。</p> <p>※実践力…最後までやり抜く力、社会に参画する力、仲間と協働する力</p>	C	<p>職場体験中止のため適正に評価できない面もあった。</p>	<p>キャリアパスポートの利用方法について学年間で交流し、効果的な活用方法を改善していく。上級学校へ引き継ぐ。</p>	C	<p>先生・生徒が心をつなぐことでよく頑張っていた。/人と会うことが制限された年なので仕方ないと思う。/職場体験が中止だったのは残念。修学旅行は行くことができて本当によかった。スキー教室は来年1・2年合同(?)という計画は、子供達も楽しみが増えたと思う。/次年度は職場体験ができることを期待する。/コロナ禍において仕方のない対応だと思う。/職場体験は知らない環境に身を置き様々な人々と触れ合う機会があるため、重要な対策であると捉えているので、引き続き対応をお願いしたい。</p>	<p>今年度は、2年生職場体験が見送りとなり、体験学習の機会が失われてしまった。延期となった校外学習は年度内実施を目指している。来年度もなるべく感染防止対策を徹底しながら体験活動を実施する方向で検討する。なお、修学旅行の実施はその後の生徒の学習意欲を高め、有効であった。</p>	

豊かな心と健康な体の育成	生徒一人一人が主体的に教育活動に参加できるような指導の充実	<p>道徳授業等の工夫・充実また豊かな心と健康な身体をはぐくむ教育活動を推進する。</p>	<p>支援委員会・スクリーニング・地域資源を活用して不登校の防止や暫定的な対策等を行う。また、いじめ対策委員会のもといじめアンケート等を活用しながら組織的にいじめの早期発見・早期解決に努める。</p>	B	<p>支援委員会で支援方針の共通理解が図れ、スクリーニングシートにより多面的に課題を整理し、SC・SSW・子家センと連携ができた。</p>	<p>支援委員会でのスクリーニング会議を来年度も継続し、暫定的な方策を決定する。いじめ対策委員会を中心としたいじめアンケートによる早期発見と早期解決を来年度も継続する。</p>	A	<p>いじめアンケートによって早期に問題を見つけれられると思う。/小規模校は生徒が家族のようになり、なんでも分かり合えるアットホームが長所、ひとたび関係のバランスが崩れると居場所を追われたりする。家庭内の問題も多くなり、それらの対応はとても大変。よく対応している。/学校だより5号(7/20)に全クラスで学級委員が「新型コロナウイルスに負けない」という発表があり、よい企画。/生徒の家庭環境や一人一人の様子を気遣ってもらい、子供達も安心して学校に通っていると思う。不登校生徒の配慮もありがとうございます。/実際の様子がわからないため、評価できなかった。不登校・いじめの両対策について引き続き小中での情報交換を行い、支援していけることを期待する。/保育園・小学校・中学校と幼少期より10年以上一緒に過ごし、少人数故に一度、関係が崩れると対応が難しい面があると思う。そのような面からも、よい対応が図られていると思う。</p>	<p>年4回実施のいじめアンケート、いじめ対策委員会の開催等により早期に防止・解決ができた。不登校の防止・支援については今年度から取り入れたスクリーニング会議により対応策を整理できた。スクリーニングの成果というよりむしろ教員のきめ細かな日常的な対応力の成果が大きいといえる。どうしても学校でできないことを見極める必要がある。</p>
		<p>道徳教育・SOS教育・学級活動等を通して命の大切さに気付かせ自尊感情を高めさせる。また全教育活動を通して人間関係形成力を身に付けさせる。</p>	<p>道徳科で実施した「留学生が先生」は国際交流・生き方・人権・進路等の多方面の学びを得られた。</p>	B	<p>今年度、初めてSOS教育を実施した。今後実施のあり方を検討していく。(実施学年・内容・時期など)</p>	A	<p>自分とは異なる文化圏で育った先生と対峙することで他者理解の幅が広がる。/生徒の登下校の様子からも命の大切さはよく理解しているように見える。/通学時の挨拶もしっかり目を見て挨拶してくれる。/トイレ工事の方からのエール「勇気=言う気」はすぐさまいただきましたね。/学校記入内容は良かった。/12月の「留学生が先生」の授業は、インドネシア・ブルガリア・中国からの先生を招き、日本の文化との違いを学んだことでしょう。今年度も道徳授業ができてよかったです。/引き続き小中ともに道徳教育の充実を図っていけたらと思う。</p>	<p>SOS教育は道徳科で実施しており、困ったときに周囲の大人等に相談できることの大切さを伝える授業である。「留学生が先生の授業」も道徳科で扱い、国際交流を通して心の育成を図っている。本校の特色ある教育の一つである。</p>	
		<p>生徒会活動・学級活動・行事実行委員会・部活動を通して生徒が自ら主体的に活動して心を豊かに、また体を鍛えられるよう支援して実践力を身に付けさせる</p>	<p>行事の中止・縮小により一部活動が制限された。実施できた委員会・体育祭を通して生徒の成長が見られた</p>	B	<p>生徒会・委員会活動での感染防止対策に向けての課題解決など生徒の主体的な取り組みが見られ、前向きに学校生活を送れている。体育祭でも生徒によるスローガンの発表など試みるとよいと考える。</p>	A	<p>学習以外の課題に取り組むことで、自主性や他者との関りを学べる。/行事は形を変えて行われた。親にその姿を見せることはかなわなかったが、生徒は状況を理解し、全力を出していたように見えた。/子供達が暑い中、体育祭の朝練に出かける姿を見かけた。毎年真剣に取り組む姿勢は素晴らしい。各部活動の成績も素晴らしい。/次年度は通常通りに行事が開催されることに期待する。/コロナ禍において様々な活動が制限される中において生徒自らが考え実行できているものがあり、効果があったものにとらえている。</p>	<p>三学期は、2回目の緊急事態宣言があり、生徒会・委員会・部活動が中止となり、生徒の主体的な活動ができなかった。このように今年度の活動は部分的であったものの次年度に生かせる活動も多く見られ、コロナ終息後を見据えて地道に教育活動を積み上げていく。</p>	

保護者・地域・七小との連携	信頼関係の構築と連携	生徒は地域行事・七小との連合行事に参加し、地域社会の一員として自覚を深めるとともに、学校は地域との連携及び小中一貫教育を推進する。	避難所開設訓練等地域行事の参加により地域社会の一員としての自覚を高め「実践力」を身に付けさせる。また「おそきの学校と地域を考える会」と連携を深める。	B	避難所開設訓練の教員向けアンケート結果では運営上の課題が指摘された。生徒の実践力向上は見られた。	地域主体の運営を前提として学校と地域との役割分担を明確にして協働体制を作りあげていく。	A	避難所開設訓練では生徒はしっかりと個々の役割をこなしていた。/その他に地域の自治会活動・高齢者クラブ等の事業にもっと参加したらよいと思う。/地域との連携という中で、大人の態度が無神経であったりしたが、その中であって学校が、生徒がベストを尽くしてくれたことに感謝。AAである。/避難訓練は「社会性」でもあるが、「主体性」を育む意味でも有用と思う。/コロナ禍でも実施すべき内容に参加していただいた意味は深いと思う。/やったからこそ課題が祖明確化だと思う。/今年度は、行事も少なく「若竹」とHPを見ての評価になるが、コロナ禍での学校の様子がわかりやすく掲載されていた。特に心配していた給食は、毎日写真をアップしてもらい、私も食した気分になった。1つ残念だったことは、体育祭を保護者の方に見学していただけなかったことである。記録会と聞いていたが、紅白に分かれ、入場行進もあった体育祭を保護者の方が応援できなかったのはとても残念。/ご協力いただきありがとうございます。日頃からの訓練が非常時に役立ちますので、当事者として引き続きご協力をよろしくお願いいたします。/HPを見たが、以下の点について改善をお願いしたい。①写真・文字共に小さく見づらい。写真の配置と説明文の位置を考慮した方がよい。/今回は六中単独での実施となり、写真からも学校と地域が協働しての訓練の実施の様子がうかがえた。実施できたことは大変良かった。次年度は、七小も含め役割分担をより明確にして実施できたらよい。/平日昼間時間帯での災害が発生した場合、避難所開設には人手が足りないことが予想されることから、生徒の役割をしっかりと認識させ、地域の一員として活動が図れるようになっていくと捉えている。	生徒は、避難所開設訓練を通して実践力だけでなく課題解決も身に付けていることが今年度の青梅市中学校研究指定校研究発表会から明らかになった。課題としては、地域の方を主体とした活動計画の作成が望まれる。第七小学校と連携して取り組む。保護者の方が体育祭の見学をできなかったことは、学校としても遺憾であると考えている。PTA・地域の方とも協議した結果、安全安心を第一とした。ご理解をお願いしたい。当日のDVDを作成したので後日視聴方法をご連絡したい。HPは、2月から改善を進めている。
		地域の文化祭(茶道部お手前・美術部作品・技術家庭科作品の展示=中止)に参加により地域貢献し、「実践力」を身に付けさせる。	—	(今年度未実施)	今年度未実施	—	校内及び川沿いの清掃、植栽の手入れ、草刈り等、ありがとうございます。/次年度実施できることに期待する。/	—	地域の文化祭が中止となったが、来年度実施であれば参加の予定である。
		七小との合同行事(音楽会・避難訓練・教員研修=中止)に学校が積極的に参加することで小中連携を図る。	—	(今年度未実施)	今年度未実施	—	開設訓練を実施いただき感謝です。小学生の時は避難のみ、中学生になって受付・誘導・消火器訓練などコロナ禍での災害支援の一役を担う訓練は良い経験になった。/小中一貫教育への踏み込みについては、推進へ向けて地域と動くべきこともあるように思う。/次年度実施できることに期待する。教員研修はオンラインを活用しながらの実施も視野に入れられるとよいと思う。	—	小中一貫教育の充実に向けて新たな可能性を開くために地域と協働して模索していく必要がある。

学校教職員による「自己評価」の仕方

4段階評価

A：目標達成、B：ある程度達成、C：もう少し、D：できなかった

<p>○4段階評価 A：目標達成、B：ある程度達成、C：もう少し、D：できなかったを基準として、校内で教職員一人一人が学校を評価したものを集計した。 上記の個人評価中のA～Dの割合をもとに次のように学校としての評価をまとめた。</p> <p>A … 全体に対するA+Bの割合が90%以上かつ全体に対するAの割合が50%以上 B … 全体に対するA+Bの割合が70%以上 C … 全体に対するA+Bの割合が70%未満 (全体に対するC+Dの割合が30%超)</p>	<p>D … 全体に対するA+Bの割合が50%未満かつ全体に対するDの割合が20%以上 (全体に対するC+Dの割合が50%超かつ全体に対するDの割合が20%以上) (ただし、全体に対するA+Bの割合が70%以上であっても、全体に対するDの割合が20%以上の時は、一段階評価を下げてCとする)</p>
---	---